



茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会だより

Hello ♥ ワーコレ

発行：茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会 <https://ibarakiwco.sakura.ne.jp/>
作成：デザインワーカーズ ピース <https://wcopeace.jp.org/>

第30号
2025年10月



得意を仕事にしませんか？

仲間と楽しく自分らしい働き方始めよう！

—— 働き方説明会 ——

ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) は、「働く人の協同組合」。多様な働き方のひとつとして注目されています。一人ひとりが主体的に出資し、経営し、働きます。

「雇うー雇われる」の関係でない新しい働き方、小さな起業・協働で元気なまち、安心な暮らしをつくります。



今回、一緒に働く仲間を募集するための説明会を開催します。あなたも、私たちと働いてみませんか？
2022年にできた新しい法人格「労働者協同組合」にご興味のある方、まちづくりや地域おこしで何かやってみたい方、
W.Coの働き方に興味がある方、W.Coに仕事を依頼したい方、W.Coを知っている人も知らない人も、ぜひご参加ください！

11月10日(月)
13:00~15:00

生活クラブ

取手センター

(取手市ゆめみ野2-2-10)
TEL: 0297-86-6800

前半は、ナチュラルクリーニング講習会です

11月19日(水)
10:00~12:00

生活クラブ

牛久センター

(牛久市猪子町992-676)
TEL: 029-872-7521

説明会の内容

1. ワーカーズ・コレクティブとは？
2. ワーカーズ・コレクティブの紹介
3. ネットワーク団体の紹介
4. 生活クラブから
5. 質疑応答
6. 茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会からのお知らせ
(基金の説明他)

※ 水戸センターでは、2026年2月13日(金)に開催予定です

参加申込方法

参加ご希望の方は、開催日の1週間前までに右の二次元コードからお申し込みください。

また、メール (wco@ibarakiwco.sakura.ne.jp) や茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会ホームページ (<https://ibarakiwco.sakura.ne.jp/>) のお問い合わせページ、お電話 (はあもにい事務局: 029-874-2650) でもお申し込みいただけます。

お名前、お住いの市町村、メールアドレス、参加会場をお知らせください。
みなさまのご参加をお待ちしています。



働き方説明会
参加申し込み
フォーム

上映会

医師 中村哲の 仕事・働くということ

2019年に凶弾に倒れるまで、アフガニスタンで干ばつに苦しむ人々のために用水路を建設した医師・中村哲を追った感動のドキュメンタリー映画。



11月9日(日) 受付 9:30 上映 10:00
つくば国際会議場 中会議室201
定員 100名 参加費 500円

上映(47分)後「おしゃべり会」を開催します。感想をお話しましょう。

お申し込みは、こちらから

お申し込み・お問い合わせは、こちらのフォーム
またはTEL:029-872-7521(生活クラブ生協内
茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会)まで。



主 催：労働者協同組合ワーカーズ coop・センター事業団
共 催：茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会
後 援：つくば市

たすけあい意見交換会報告

7月16日、生活クラブ牛久センターで、たすけあいに関して日ごろ感じていること、気になっていることを話し合う、意見交換会を開催しました。

参加したワーカーズやネットワーク団体からは、「情報弱者の高齢者、ワンオペ家事・子育ての若い世代など困っている方は沢山いて、今後のたすけあいのあり方を考えさせられた」「行政によって福祉への取り組みも違うので、地域分析が必要」「高齢になると、エコロでできる範囲を超えた依頼内容になるのでワーカーズが求められていると感じた」「今日のような話ができる場を地域にもつくり、身近なエリアでたすけあいを通した地域づくりが進めばよい」などの感想が聞かれました。

外部学習会レポート (企)ワーカーズ・コレクティブはあもにい 吉田 円

2025年2月14日 埼玉単協・川口センター
生活クラブ茨城 交流・意見交換会

生活クラブ埼玉のエコロ制度をはじめとする助け合い機能をつなぎ、福祉の視点を入れた場所づくり=相談機能を持った居場所〈Tハウス〉についての学習会でした。



よりそいサポーター(居場所を作る人)が運営するTハウスには①交流②相談③ケアの3つの機能があります。サポーターはエコロ会員なら

誰でもなれますが、研修を受け認定されます。研修では、利用者と対等な関係であること、また公的機関の相談窓口の知識と傾聴の姿勢を学びます。Tハウスは小規模のものを数多くつくる方針で、基本ルールとしてわずかでも参加費を徴収し、参加者が主体的に参加する意識を持つこと、開催ごとに次回告知と地域へも告知活動を行うことが条件です。2025年2月時点で77か所、サポーター241名が登録し、場所や時間も自由に開催しています。

埼玉は、〈支部活動〉〈連(茨城では地域くらぶ)〉〈Tハウス〉と重層的に組合員と地域をつなぎ、居場所づくりが身近にある環境だと感じました。



2025年2月17日 神奈川・W.coキャリア 旭センター
配送受託事業会議メンバーによる事業所訪問

業 種：班個配送・牛乳単独便・デポーキャリア便・惣菜便・パン配送・運動グループ関連配達(食のワーカーズへの食材配達等)・片付け・引き払い業務

働き方：8:00～13:00 12:30～17:30

(班・個配の配達)業種によって時間は様々

働きたい人に合わせ、多種多様な配達コースや業種(仕事内容)があります。配達車は、はあもにいの使用しているサイズもありましたが、職員のトラックより一回り小さいサイズの車がメインでした。託児所を作ったことで、ワーカーの加入が増えたそうです。託児所はパートナーシップ促進センター(神奈川は、生活クラブとワーカーズ・コレクティブをつなぐ組織があります)を通して話し合い、生活クラブ内に設置されています。

〈コモンズステーション運営「くりのきマルシェ」〉

現在、神奈川単協の実験事業中。ここはワーカーズが運営を委託されています。生活クラブは、通常自宅に配達する宅配生協ですが、神奈川では新しい仕組みとして週に1回決まった場所で品物が受け取れる施設(ステーション)を地域に少しずつ増やしています。地域の皆さんのほっとできる居場所となることを目指し、週2日の開所日以外にも、イベントをおこなう日もあります。自治会にも入り、地域の人たちにも何をやっている場所なのか浸透してきたところだそうです。